

結論ありき、にならない

photosystem II (PSII)の水分解触媒部位の構造は、2011年に初めて Mn_4CaO_5 と同定されるに至りました。 Mn_4CaO_5 の形状は「歪んだ椅子」にたとえられます。この形状を見れば、3つの Mn 原子だけでなく、(酸素発生に必須である) Ca にも囲まれた O5 という酸素原子は、私も含めた多くの研究者にとって、非常に興味深い存在です。・・